

令和3年度内閣総理大臣賞受賞者受賞理由概要
女性の活躍

有機農業経営を確立し地域農業を牽引する

○氏名又は名称 澤田 たみ子

○所在地 鹿児島県出水市

○出品財 女性の活躍

○受賞理由

・地域の概要

出水市は、鹿児島県の北西、熊本県との県境に位置する。八代海に面し、矢筈岳山系と紫尾山系に囲まれ、複数の河川から形成される肥沃な出水平野部と豊富な地下水に恵まれ、農林業が盛んである。農業は稲作、果樹、畜産等の多様な生産活動が行われている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

澤田氏は、県内の農業者に先駆けて、有機農業を実践してきた。販売先の要望により有機 JAS 認証を取得し、水稻作面積 13ha のうち 5 ha が有機 JAS ほ場に認定されている。また、麦や大豆等も有機農法で栽培し、自家農産物を用いた加工品を加工施設「澤田農園はる菜」で製造している。消費者に「安心、安全で美味しい農産物」を提供し続けることを経営の目標としている。当該加工施設も有機 JAS 認証を取得している。平成 29 年には、息子夫婦と共に家族経営協定を締結し、共同申請により全員が認定農業者となっている。

・受賞者の特色

(1) 有機農業

非農家出身の澤田氏は自ら研鑽して農業技術を習得し、合鴨農法による水稻作や麦・大豆の有機農業経営を行い、生協やレストラン、個人等へ特別栽培米を販売している。加工品は直売所等で販売している。また、学識経験者とともに有機農業の確立に向けた組織活動にも参画し、消費者とのつながりや農作業体験等を通じて、有機農業への理解促進に積極的に取り組んでいる。

(2) 女性の活躍

澤田氏は、生活改善グループ活動に熱心に取り組み、組織の活性化や後継者育成に貢献している。鹿児島県生活研究グループの会長として食品加工技術の向上や食の伝承、農村における男女共同参画等についての研修等を積極的に行っている。全国生活研究グループ連絡協議会理事（九州・沖縄ブロック会長）も務めている。

・普及性と今後の発展方向

澤田氏は、様々な方針決定の場に参画できる女性リーダーの後継者育成のため、女性農業経営士として、若い女性農業者に対する経営参画に向けた助言指導や地域農業振興への積極的な参加を行っている。また、農村女性として多様な組織に加入し、多数の役職を担いリーダーとして活躍している。今後も様々なネットワークを活かし、つながることで、自身の取組をこれからも普及することが期待されている。